

1 調査名称：田川市都市交通計画策定調査

2 調査主体：田川市

3 調査圏域：田川都市圏

4 調査期間：平成21年度

5 調査概要：

長期未整備である都市計画道路 11 路線について、現状及び将来像を把握するとともに、路線の評価を行いながら未整備都市計画道路の検証を行う。

I 調査概要

1 調査名：田川市都市交通計画策定調査

2 報告書目次

第1章 将来都市像の明確化

第2章 都市計画道路の特性と現況把握

第3章 市民意向調査

第4章 社会情勢の変化

第5章 見直しの必要性の整理

第6章 未整備都市計画道路の実態把握

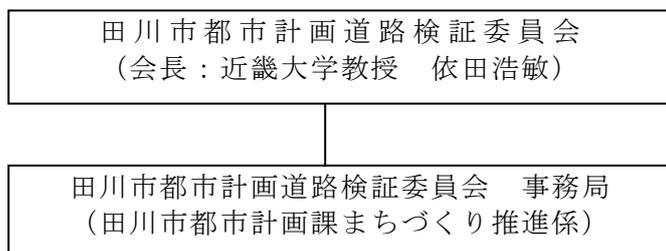
第7章 個別施設（路線）の評価と検討

参考資料

1 路線カルテの作成

2 定量評価の項目別説明資料

3 調査体制



4 委員会名簿

	所属	役職等	氏名
委員長	近畿大学産業理工学部	教授	依田 浩敏
副委員長	福岡県立大学人間社会学部	教授	文屋 俊子
委員	福岡県田川県土整備事務所	所長	宮崎 良哉
委員	福岡県田川警察署	署長	花田 利夫
委員	田川市総務部	部長	丸谷 芳昭
委員	田川市福祉部	部長	木村 光一
委員	田川市建設経済部	部長	満倉 崇
委員	田川市総務部総合政策課	課長	日野 俊信
委員	田川市総務部財政課	課長	米田 昭彦
委員	田川市建設経済部商工労政課	課長	熊谷 章子
委員	田川市建設経済部土木課	課長	山本 輝清
委員	田川市建設経済部都市計画課	課長	坂本 美八男

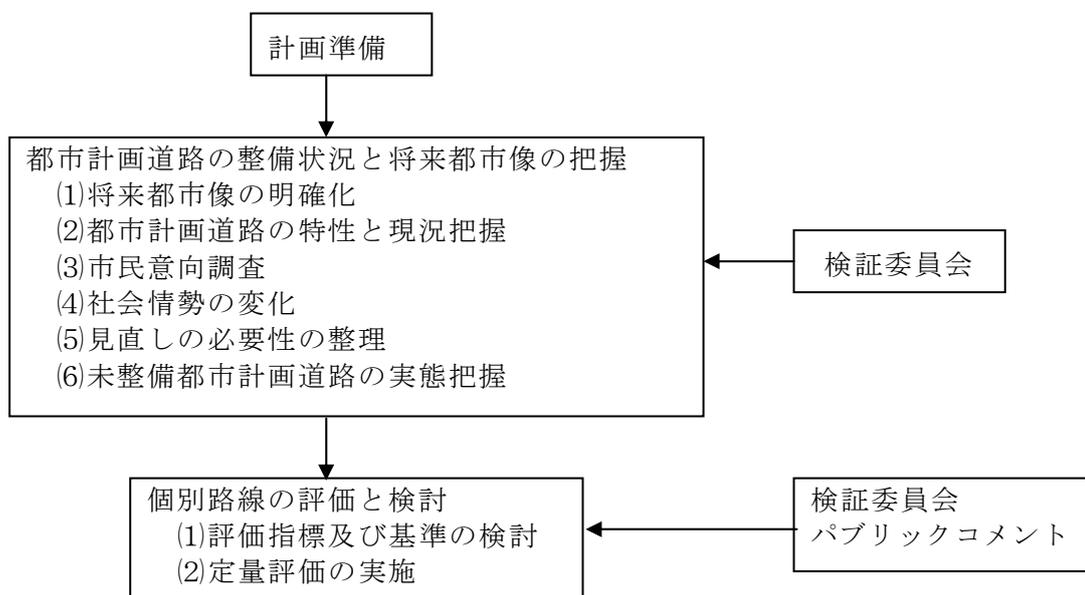
II 調査成果

1 調査目的

本市では、円滑な移動を確保するための交通機能や良好な都市機能を形成するために、都市計画道路を都市計画決定し長期にわたり整備してきたが、都市計画決定 14 路線のうち 11 路線が未整備である。未整備の路線はすべて都市計画決定から 20 年以上経過しており、近年の人口減少、少子高齢化などの社会情勢の変化等により交通体系や都市を取り巻く状況が大きく変化している。また、都市計画決定地内の土地所有者は都市計画法による建築行為の制限を受けることから、未整備の路線においては長期にわたり制限を受けていることになる。

このようなことから、未整備である都市計画道路について、将来の交通需要や道路網としての機能や役割を整理し、様々な観点から路線の評価を行いながら都市計画道路の検証を行うものとする。

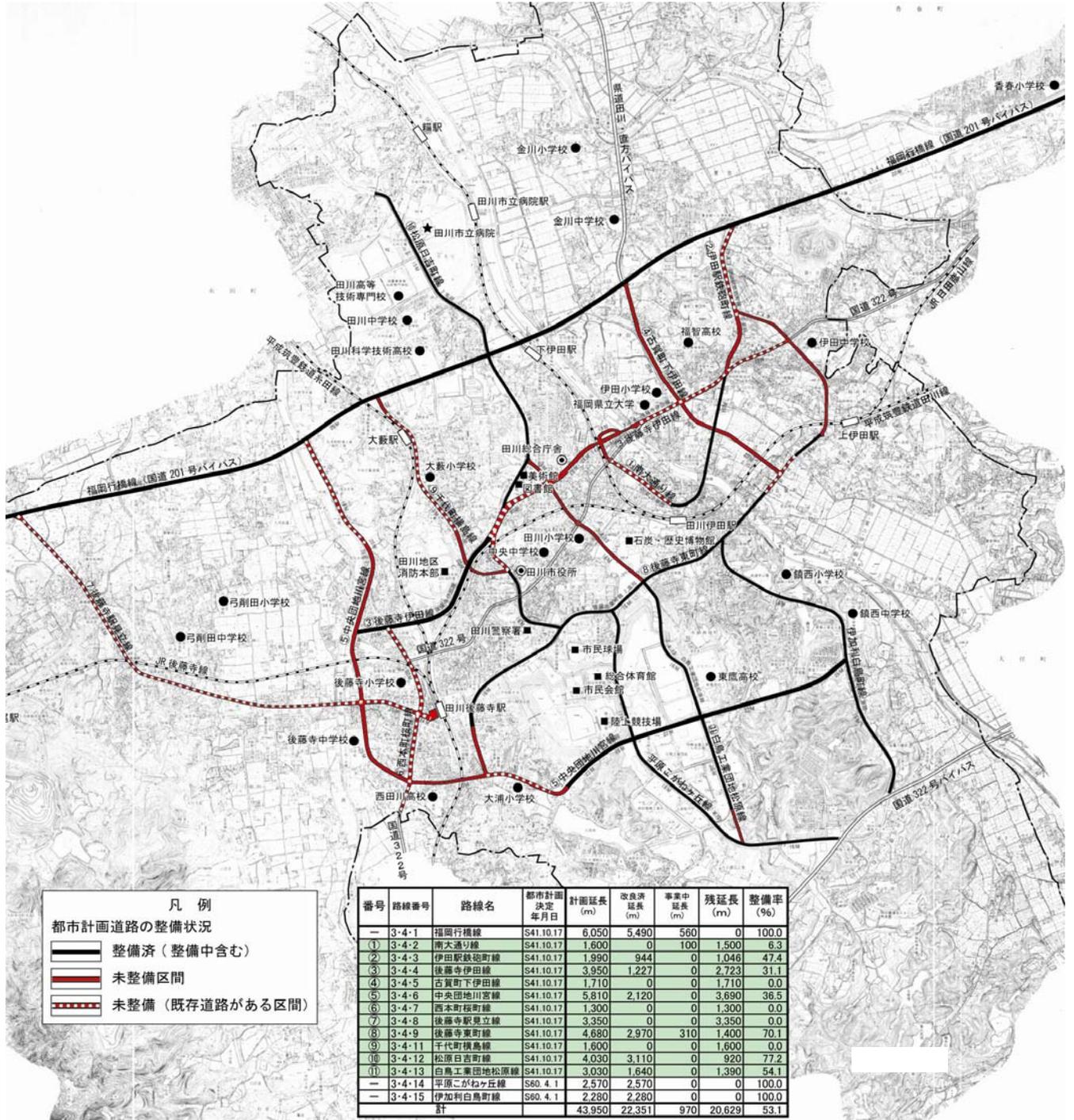
2 調査フロー



4 調査成果

(1) 検証対象路線

未整備の都市計画道路はすべて都市計画決定から20年以上経過していることから、未整備区間の存在する路線はすべて検証対象とする。

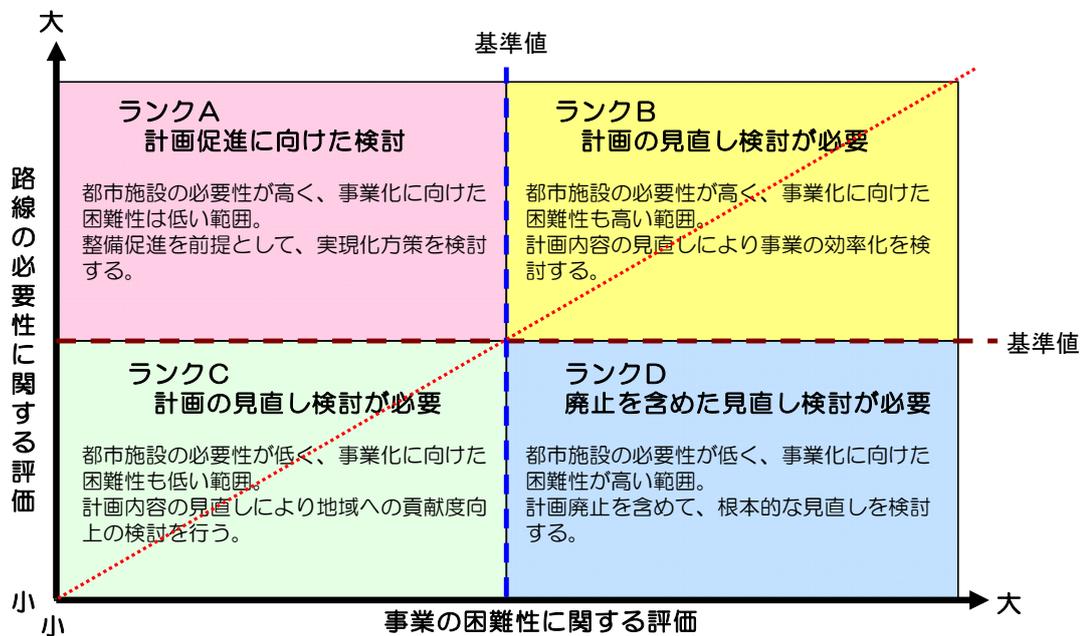


(2) 個別路線の評価と検討

未整備都市計画道路を区間別で評価を行い、客観的な評価による透明性の確保を図るため、定量評価を行った。

定量評価に当たっては、国道や県道、都市計画道路同士の交差部分で路線区間を分割し、39区間で評価を行った。

評価の方法としては、縦軸として「路線の必要性に関する評価」と横軸として「事業の困難性に関する評価」を加点方式により得点付けを行い、相対的に評価を行うこととした。



(3) 区間別の評価結果

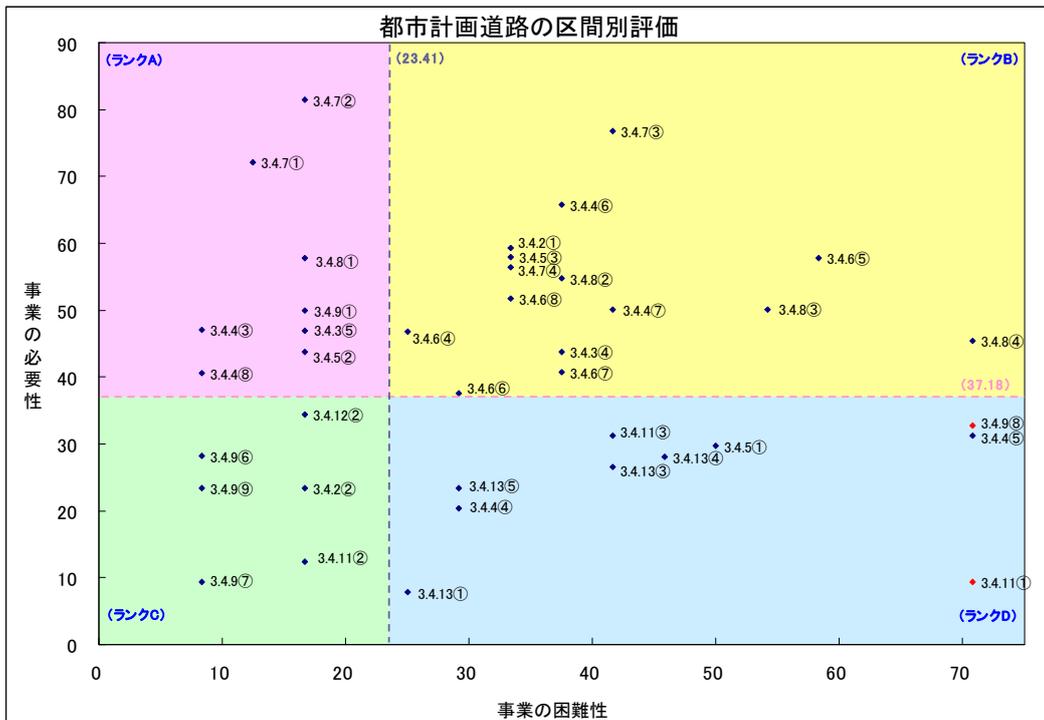
各評価項目による区間別評価で行った評価結果を点数化し、各ランクに分類すると表1のとおりとなった。

また、分類結果を相対グラフ内に各区間の点数を表示すると図1のとおりとなった。

表 1

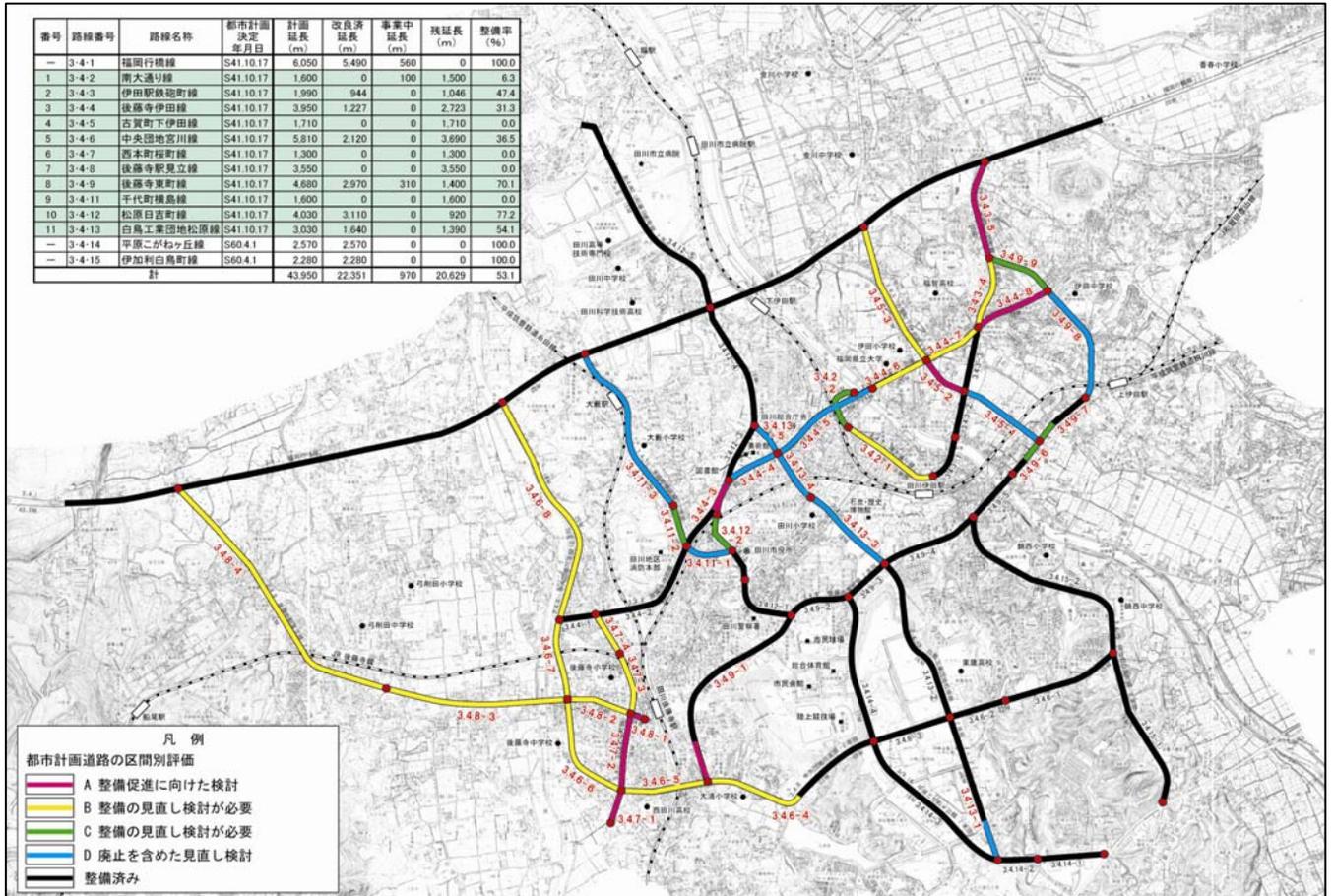
区間名		判 定			
		A	B	C	D
南大通り線	3.4.2①		B		
	3.4.2②			C	
伊田駅鉄砲町線	3.4.3④		B		
	3.4.3⑤	A			
後藤寺伊田線	3.4.4③	A			
	3.4.4④				D
	3.4.4⑤				D
	3.4.4⑥		B		
	3.4.4⑦		B		
	3.4.4⑧	A			
古賀町下伊田線	3.4.5①				D
	3.4.5②	A			
	3.4.5③		B		
中央団地川宮線	3.4.6④		B		
	3.4.6⑤		B		
	3.4.6⑥		B		
	3.4.6⑦		B		
	3.4.6⑧		B		
西本町桜町線	3.4.7①	A			
	3.4.7②	A			
	3.4.7③		B		
	3.4.7④		B		
後藤寺駅見立線	3.4.8①	A			
	3.4.8②		B		
	3.4.8③		B		
	3.4.8④		B		
後藤寺東町線	3.4.9①	A			
	3.4.9⑥			C	
	3.4.9⑦			C	
	3.4.9⑧				D
	3.4.9⑨			C	
千代町横島線	3.4.11①				D
	3.4.11②			C	
	3.4.11③				D
松原日吉町線	3.4.12②			C	
白鳥工業団地松原線	3.4.13①				D
	3.4.13③				D
	3.4.13④				D
	3.4.13⑤				D
合 計		8	15	6	10

図 1



(4) 定量評価結果後の路線網図

定量評価により区間別に行った評価結果を路線網図に反映すると以下のとおりとなった。



(5) 路線カルテの作成

◆路線カルテ		路線名		南大通り線		●路線位置図	
路線番号	3.4.2	幹線道路	用途指定状況	商業地域・準住居地域			
道路の種別							
計画決定延長	1,600 m	整備済延長	0 m	整備率	6.3 %		
概成済延長	100 m	計画代表幅員	20 m	車線数	2		
起終点	(起点) 魚町 (田川伊田駅)			(終点) 寿町			
路線の概要	沿道土地利用	沿道は商業系の用途地域が指定されており、商業施設が集積している。					
	交通環境	田川伊田駅と国道322号、3・4・4後藤寺田川線と結ぶ道路であり、商業施設が集積しているため、交通量は多い。					
	道路の機能 (ネットワーク、配置パランス等)	田川伊田駅と国道322号、3・4・4後藤寺田川線と結ぶ道路である。また田川伊田駅周辺の商業地区の骨格を成す道路である。					
	事業性に対する問題点等	沿道には建物が密集しており、事業化に向けては用地費等の確保が問題となる。					
都市計画決定	都市計画決定年月日	(当初) S41.10.17	経過年数	44 年			
	計画決定当初目的						
事業費	工事費 (千円)	294,000	用地補償費 (千円)	5,923,000	合計 (千円)		6,217,000
	道路	294,000	土地	3,144,000			
	橋梁	0	建物	2,779,000			
	トンネル	0	その他	0			
区間の現況	番号	計画延長 (m)	計画幅員 (m)	現況幅員 (m)		換 要	
				車道	歩道		
	①	954	20	7.5	2	0	
	②	646	18	-	-	0	
道路整備に関する行政の基本的考え方							
住民意向調査から抽出される特記事項							
当該路線に関する調整事項等							

(6) 定量評価の項目別説明資料

必要性の評価

①都市間の交流・連携

一般国道または主要地方道に直接アクセスする区間を評価対象とした。
該当する区間は 27 区間であった。

路線名称	評価理由	〇数
3.4.2	① 主要地方道伊田停車場線上	1
	② 国道 322 号にアクセス	2
3.4.3	④ 国道 322 号にアクセス	3
	⑤ 国道 201 号にアクセス	4
	③ アクセスしない	x
	④ アクセスしない	x
3.4.4	⑤ 主要地方道田川直方線にアクセス	5
	⑥ 国道 322 号上	6
	⑦ 国道 322 号上	7
	⑧ 国道 322 号上	8
	① アクセスしない	x
3.4.5	② 国道 322 号にアクセス	9
	③ 国道 322 号、201 号にアクセス	10
	④ アクセスしない	x
	⑤ 国道 322 号にアクセス	11
3.4.6	⑥ 国道 322 号、主要地方道添田赤池線にアクセス	12
	⑦ 主要地方道添田赤池線にアクセス	13
	⑧ 国道 201 号にアクセス	14
	① 国道 322 号上	15
	② 国道 322 号上	16
	③ 国道 322 号上	17
3.4.7	④ 国道 322 号にアクセス	18
	① 国道 322 号にアクセス	19
3.4.8	② 主要地方道添田赤池線上	20
	③ 主要地方道添田赤池線上	21
	④ 主要地方道添田赤池線上	22
	① アクセスしない	x
	⑥ アクセスしない	x
	⑦ アクセスしない	x
3.4.9	⑧ 国道 322 号にアクセス	23
	⑨ 国道 322 号にアクセス	24
	① アクセスしない	x
	② アクセスしない	x
3.4.11	③ 国道 201 号にアクセス	25
	② アクセスしない	x
3.4.12	① アクセスしない	x
	③ 国道 322 号にアクセス	26
3.4.13	④ 国道 322 号にアクセス	27
	⑤ アクセスしない	x

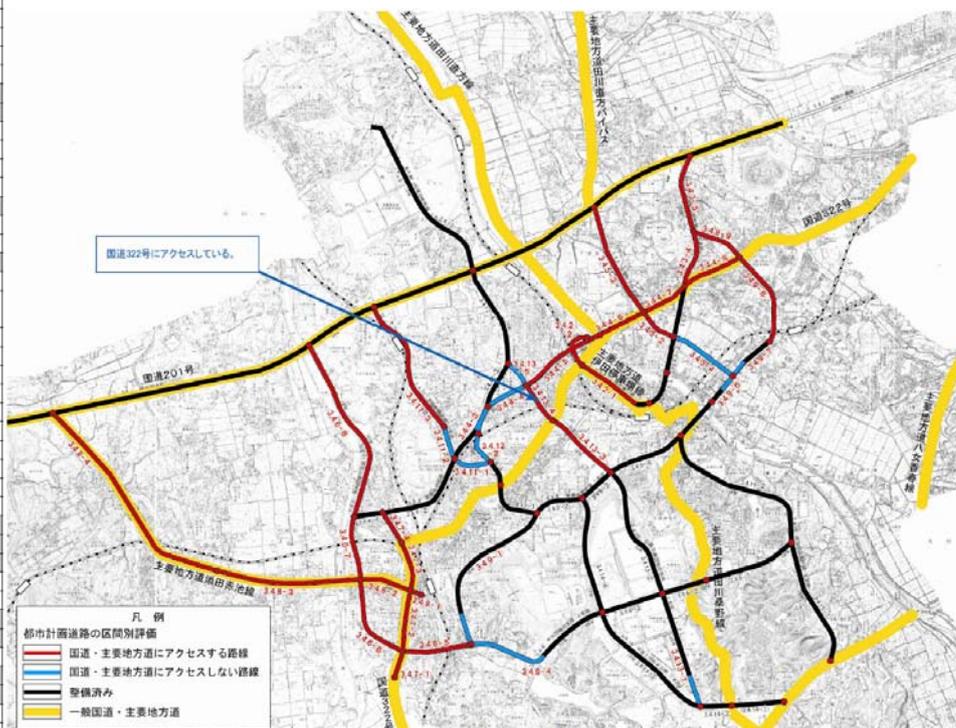


図 都市間の交流・連携